

『第一席』

こんぺいとう 第十五号

愛知県立常滑高等学校

常滑高校文芸部は九月と二月に部誌「こんぺいとう」を発行しています。小説、詩、短歌、俳句、川柳など様々なジャンルの創作活動が続けています。今年は文芸部の主軸であった三年生が引退した後、部員が少なくなりましたが、前年度に負けないようにと気を引き締め、創作、編集に部員がそれぞれ責任を持って取り組みました。

今年の部誌は「おかしな夏、そして来年への道」をテーマに創作しました。変化した私たちの夏に対して、どのように向き合っていくのかを考え、一風変わった企画や先輩の続編小説など、楽しめる要素がいっぱいあります。少し不思議な作品をお楽しみください。

今年は、失った二ヶ月間の活動を取り戻そうと、一年生には作品を多く載せることや編集作業も頑張ってもらいました。



先輩や先生のお力も借りながら、今年も発行することができました。毎年力が入る、今年の表紙は、玉座に座り本を読む女の子が目印です。

是非、私たちの部誌を手にとって、楽しく読んで頂けたらと思います。

(二年 三浦 有貴)

『第二席』

『文學帖』 第十二号

私立名古屋高等学校

名古屋高校文学部による『文學帖』第十二号。見所はその濃さであります。まず、この一冊に小説・詩・短歌・俳句、そして古典研究、全て詰め込みました。創立から一三〇年以上の男子校である本校の特色を活かしたテーマ「男子校の日常」という独自のエッセンスを加えて。例えば、古典研究。こちらは「比叡山」というテーマを元に論文を執筆するだけでなく、本格的なフィールドワークを行いました。男だけで。俳句企画である「琉球探訪」は部員だけで「冬の沖縄」をテーマに俳句を詠むだけでなく、選評を行い、部員だけで句会を成立させました。もちろん男だけで。短歌では、短歌と短歌を戦わせ、最強の一首を選定するオンライン大会（情勢を考慮して）を開催しました。男だけの。



奇をてらうつもりはなかったのですが、色々なことに挑戦していたら奇になつてしまった本誌。楽しんで頂けたらそれ以上の幸福はございません。

(三年 鈴木 康祐)

第三席

AWAY 2020 AUTUMN

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

また、年に二回文芸部誌を発行しています。文化祭で発行する本誌は、生徒及び一般の方々に販売しています。

今回の部誌のテーマは「色」です。十人十色という四字熟語があるように、六人の部員一人一人の色が表れた部誌となっています。詩・コラム・小説・短歌・俳句・企画（色々な時代の流行り言葉）など、色々なジャンルの作品が掲載されています。また、色にこだわったカラーページも満載です。ページをめくるたびに溢れ出す色が、きっとあなたの心を鮮やかに彩っていきますよ。

いつもとは一味違う「AWAY 2020 AUTUMN」を、色々な角度からどうぞお楽しみくださいませ。



（二年 中村 颯汰）

審査員特別賞

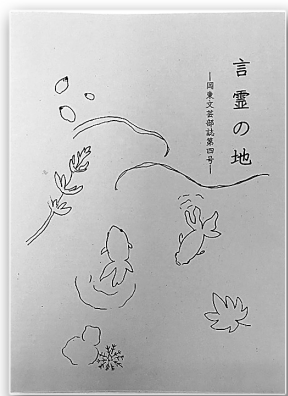
言霊の地 岡東文芸部誌第四号

愛知県立岡崎東高等学校

私たち文芸部は、週二回、火曜日と水曜日に活動しています。部員それぞれ、俳句を作ったり、絵を描いたり、小説を書いたりして、部誌の発行やコンクールを目指して日々頑張っています。

今回の部誌は現三年生と二年生の最初で最後の共同制作です。また、卒業された先輩方の作品も三年間分をまとめて掲載させていただきました。二、三年の部員は、それぞれが書いた小説やイラストをふんだんに盛り込んでいます。特に小説は、各部員の個性や世界観が表れていて、ページ数のみならず、読み応えのあるものになっていると思います。

（二年 森 勇人）



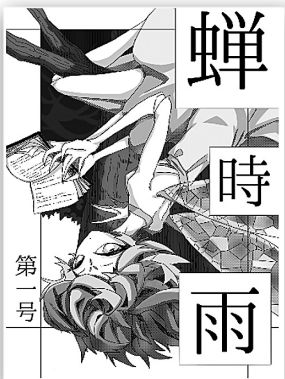
審査員特別賞

蝉時雨 第一号

愛知県立知立東高等学校

知立東高校文芸同好会は、二〇二〇年に設立されたばかりの新しい同好会です。毎週火・金曜日に、かぶらない個性を持つ部員が神出鬼没で現れ、下校時間ギリギリまで自由に活動しています。

この度紹介させていただくのは、文化祭で初めて発行した部誌「蝉時雨（せみしぐれ）」です（二〇二〇年九月発行）。文化祭では当初発行した百部が午前中になくなり、あわてて百四十部増し刷りをしました。製本作業は大変でしたが、多くの方が手に取ってくださり、とても嬉しかったです。中身は大きくわけて自由投稿とテーマ投稿「夏」の二つがありますが、個性豊かな部員が作成したため、様々なジャンルが楽しめます。また、書体を各々が選ぶことにより、部員一人一人の魅力が存分に出来るものが仕上がりました。



普段は、小説や俳句の創作、創作物の読み合い、リレー小説、有名作品の批評など、幅広く活動しています。部員がやってみたいものは積極的に行う、自由度の高い同好会です。以上、今年から仲間入りいたします知立東高校文芸同好会の紹介でした。

（一年 橘 知里）